

令和6年度 第4回 追分小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月17日（月） 13時30分から15時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立追分小学校 会議室
- 3 出席委員 松田 勝、松本 依子、小山 正博、大澤 一夫、内山 丈夫、村上 美代子、
大石 恵麻、今泉 るり子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 坪井 百合子（校長）、大渡 和正（教頭）、池野 紀子（CS担当）
山田 公子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 山田 公子
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に確認を行い、松田会長より松本副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）学校関係者評価について
- （2）学校運営協議会の自己評価について
- （3）来年度の学校運営の基本方針の説明について
- （4）夢育やらまいか事業の報告について

10 会議記録

司会の大渡教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）学校関係者評価について（「いじめ防止基本方針について」含む）

議長の指示により、池野（CS担当）より、別紙資料に基づき、学校評価アンケートの結果報告があった。第一回学校運営協議会において承認された学校運営の基本方針に基づき教育活動を行ってきたことにおける、児童・保護者・教員へのアンケートである。これをふまえ、やさしさ・かしこさ・たくましさ・いじめ防止基本方針の観点より、それぞれ成果・課題・改善点について説明があった。結果と説明を受け、よりよい学校づくりを目指すために必要な改善点や持続すべき点について話し合われ、委員からは以下の発言があった。

① やさしさ

- ・100周年というイベントもあり、6年生を中心に縦割り活動が多く交流がもてていた。読書に関しては、読み聞かせ時の様子から、読書に興味があるように感じている。特に低学年は反応もいい。既存の読書週間だけでなく、読書の時間を枠組みの中で増やしていけば、本にふれる機会が自然に増えるのではないかと。（今泉委員）
- ・やさしさは、日常のふれあいの中で意識的にも無意識的にも現れている。それを大人や教師が見つけて伝え、具体としての行動の価値を認めることで、子供の意識を変えることに直結し、芽が出て成長していく。無意識で行っていることを意識化することが重要である。並行

して縦割り活動における交流のよい部分も伸ばしていったほしい。(松田会長)

- ・異学年交流が多く、子供たちの楽しそうな様子がたくさん見られた。(松本議長)
- ・登下校で子供たちが会話しているのを見かける。その様子から、相手を思いやって受け答えをしていると感じた。その一方、場面に応じためりはりのある行動については課題がある。改善することは、集団のみならず自身のためにもなる。(小山委員)

② かしこさ

- ・地域の公園での活動は、全員で協力し物事に取り組んでくれている姿が見られた。このように公園を大事にしてくれることはありがたい。(小山委員)
- ・授業内容の理解に関しては、家庭での協力が必要な場合もあるかと思う。学校に来る楽しみは、友人とふれあうだけでなく、学ぶ楽しさもある。学ぶ楽しさを知ること、協調性にもつながり、学習環境の向上も図れるのではないか。(村上委員)
- ・家庭によって、協力できる範囲や環境も異なる。各家庭で何ができるのか模索していくことも大切だ。周囲が自分のことを理解してくれているとポジティブになれる。(大石委員)
- ・勉強が苦手な子でも、授業理解が少しでも進むと学校が楽しくなる。授業の中で、保護者が関わりをもつことや、友人と助け合いながら学んでいくとより楽しくなる。(今泉委員)
- ・一人で何とかしようとせず、周囲とお互いのよさを生かしながら助言していく。その関わりは大きな糧となる。(松本議長)
- ・追分小で培った「本を読む」「家庭学習に取り組む」といった習慣は卒業後に見えてくることもある。一方、授業理解の不足はどのように補っていくのかといった課題がある。また、アンケートは答える立場によって視点が変わるため、数字では測れないものもある。成果は、先述のように何年後かに現れることもあるのではないか。(大澤委員)

③ たくましさ

- ・健康の日をはじめ、意識する日を設けるのはすばらしいことだ。このような日には自身を振り返り、周りとの切磋琢磨できるため、年に何回かあってもいいと感じる。すべての項目に共通し、褒めて伸ばすことは絶対に必要だ。大人子供関係なく、お互いのよいところを肯定していくことで自信となる。また伝えた側も、相手のよさを見つけられるという成長につながる。(小山委員)
- ・一つのことに對して、諦めず粘り強く続けていくには、その姿があった際に、個別・集団問わず積極的に伝えていくことが力の源となる。(松田会長)

④ いじめ防止基本方針

- ・転入生とも積極的にコミュニケーションをとれており、仲のよさが垣間見える。いじめ防止の風土が根付いているがゆえと推察する。お互いの個性を受け入れることができていところが追分小学校のすばらしいところだ。また、先生が子供たちのよいところを文字に表して褒めてくれるのは、子供はもちろん保護者も嬉しい取り組みである。(大石委員)

(2) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、松田会長から、別紙資料に基づき自己評価について報告があった。報告を受け、委員からは以下の発言があった。

- ・追分応援団の活動は、校内や地域に今以上に発信していく必要性を感じる。また、協力して

- もらえる範囲をあらかじめ確認しておけば、依頼する際の的が絞しやすい。(大澤委員)
- ・自治会の定例会で追分応援団の活動紹介も可能である。(小山委員)

(3) 来年度の学校運営の基本方針の説明について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき来年度の学校運営の基本方針について説明があった。やさしさ・かしこさ・たくましさの3つの柱はそのままに、多様性、包摂性に力を入れていく。また、キャリア教育を児童及び保護者にも意識していただくべく教育課程に組み込んだ。ウェルビーイングに関しては実現から向上へとステージを変える。本校の実態を把握しながら、国・県・市の方針を受け、描く夢や未来の実現に向けグランドデザインを設定するとの説明があった。

説明を受け、委員からは以下の発言があった。

- ・昨年度は記載されていた「傾聴する力の育成」が見受けられないが、来年度案にはどのような形で含まれているか。(内山委員)
- ・「多様性を認める」という項目に含んで設定している。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業の報告

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業について報告があった。

＜その他報告事項等＞

学校支援コーディネーターの今泉委員より、これまでの支援活動進捗状況や、今後の活動予定が報告された。

司会から、次回会議は、2025年4月24日(木)午後1時30分から追分小学校会議室で開催する旨の報告があった。